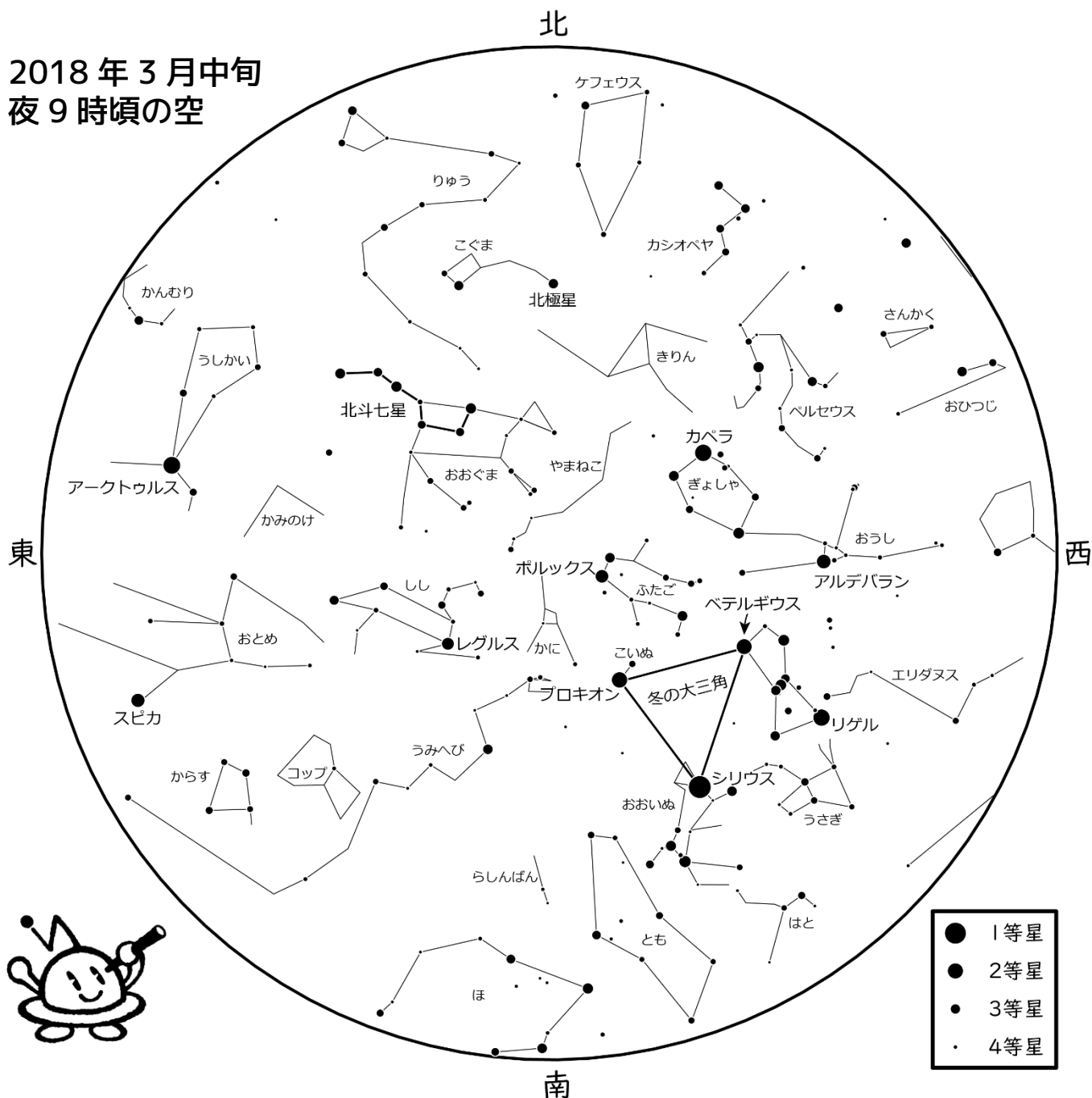


# 阿南市科学センター 3月の星空案内

2018年3月中旬  
夜9時頃の空



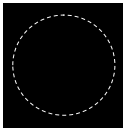



3月に入って冬の星座たちは西の空へ傾き、夜空もだんだんと春の装いになってきました。北よりの空には春の代表的な星の並び**北斗七星**（おおぐま座）を見つけることができます。この北斗七星は美術家のゴッホの作品『**ローヌ川の星降る夜**』にも描かれており、時代や文化を超えて人々に親しまれています。さらに、空高いところには黄道12星座としても有名な**しし座**が見え、この星座で輝く**レグルス**という1等星が目をはびきます。レグルスはラテン語で『**小さい王**』を意味し、紀元前3千年ごろのペルシャでは王家の星（ロイヤル・スター）の一つとされ、王者の運命を占う星として親しまれてきました。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

## ◇ 月の満ち欠け

名称	満月	下弦の月	新月	上弦の月
形状				
見える日	3月2日, 31日	3月9日	3月17日	3月25日

## ◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	中旬頃、日没後に西の超低空に見える。	中旬頃、日没後に西の超低空に見える。	深夜にいて座付近で見える。	深夜にてんびん座で見える。	深夜にいて座で見える。
明るさ	約1等	約-4等	約0.5等	約-2等	約0.5等

## ◇ おすすめ天体 【夜空の宝石・二重星】

二重星（ダブル・スター）とは肉眼では一つにしか見えない星が、望遠鏡で拡大して見ると二つの星に分離して見える天体です。キラリと二つの星が並ぶ姿はまるで宝石で、二重星によっては色の対比がとても美しいものもあります。ちなみに二重星の中には引力でお互いの周囲を回りあう「連星」と、地球から見たときたまたま同じ視線方向に見える「見かけの二重星」があります。天体観望会では3月に見やすい二重星を幾つかご案内します。



図1: 冬や春にかけて見られる二重星  
(左からいっかくじゅう座イプシロン星、おおいぬ座 h3945 星、しし座γ星、かに座イオタ1星)

## ◇ 今月の天文現象 【月が順番に木星・火星・土星に接近】

先月に続き、3月も夜明け前の空で月と惑星たちの接近を楽しむことができます（図2）。まず3月7日に月齢19の月と木星が接近、10日には月齢22の月が火星に接近、そして11日には月齢23の月が土星に接近します。いずれも7倍程度の双眼鏡であれば二つの天体を同じ視野で見ることができるようでしょう。夜明け前に目が覚めた方は、是非月と惑星のランデブーをお楽しみください。

（注：図2の月のサイズは実際の見え方とは異なります。）

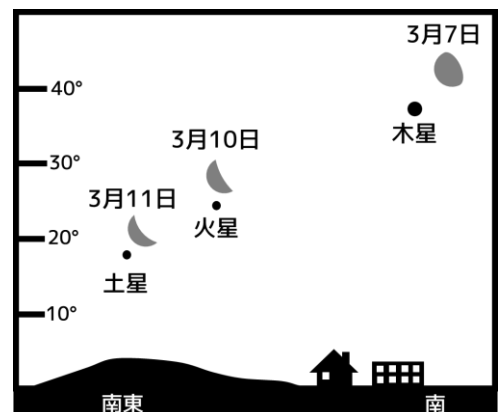


図2: 月と惑星のランデブー  
(図の時刻は午前4時30分頃)